

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月25日(18:00 ~ 20:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、山田、木村、上井、矢崎、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	人	12人

前回の改善計画
・記録の書き方やわかりやすい文章など、話し合いをしながら他の職員の意見を聞きたいという声がある。コロナ感染が広がっていて、複数人数での会議も開催しにくい状況だが、機会をもって質の向上を図りたい
・初期の関りについての記録は記入出来ていて共有も出来ているため引き続き行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果
・訪問利用のみの方に対しても訪問時実施した内容を記載し共有できていた。次回訪問時の参考になった
・訪問に参加していなくても記載事項を見ると詳細が書かれていてわかりやすかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	6	2	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	3		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	8	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・受け入れる利用者様の情報を事前に周知してくれているので初期の関りが出来ている初期の関りが出来ている	
・初期に関わった職員が数日間の記録を残していることで直接かかわらない職員へ共有できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・急な利用開始のケースが多く、初期の段階では少ない情報量で対応するため利用しながら情報収集している	
・出勤日の違いで全く会わない利用者様もいる。その方は情報はあがるがわかりにくい時もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・コロナ禍ではあるが一定人数でのカンファの実施は行っているが対面式の勉強会が出来ていない。可能な限りパソコン(リモート)ではなく実際に集まって勉強会を実施できるようにしていきたい	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月25日(18:00~20:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、山田、木村、上井、矢崎、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	6人	1人	12人

前回の改善計画	・利用期間が長い方は毎回似たような支援が続いていて、現状の維持を中心とした活動となっている。改めて今何を目指しているか話し合う場を作らないと家族も含め目標が見えにくくなっている。スタッフミーティングの場でも今の目標を確認する場を設けていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・カンファレンスの場でも話はしたが利用が長く毎日同じような日々の方の目標を明確にすることは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		4	8		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	6		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	7		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	8		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様の日々を支えたい気持ちは職員全員にあると思える。 ・「～したい」を実現できるように努力はしているが実際は現状維持になってしまっている。落とさないように今できる事の実施は行っている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の当面の目標(下着を汚す前にトイレで排尿してもらおう)などは理解しているがゴールが分からない場合が多い。本人よりも家族の都合で泊りや延長などの回数が増えている感じ。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・家族の都合も在宅継続していく上では大切な1つだが、泊りや利用回数が増えたときはご本人様の気持ちを家族ともう1度話をしたうえで実施していくようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月25日(18:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、山田、木村、上井、矢崎、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	人	人	12人

前回の改善計画
・職員用の連絡ノートに記載する習慣をつけるため、申し送り後に記載の時間を設ける。重要と思われる情報はこの時記載する。 ・月1回のミーティングでは利用者様の声にならない声を話し合う事もあり1人で考えず議題に出してもらい話し合いの結果を参考にして考え方を学ぶことを継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・連絡ノートの情報を仕事前に必ず目を通す習慣や声掛けが出来ている ・利用者個別の話し合いを実施し、難しい看取りも職員全体で支えることが出来た

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5	7		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	10			12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・連絡ノートに記載されていることでわからなければ質問できている ・体調変化時はリーダーへ報告し指示を受けられている ・カンファレンス以外でも声にならない声を話し合う場は多くある	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・以前の暮らしを家族も知らなく状況を把握するまで時間がかかる場合がある ・以前の状況を10個以上知っているかと言われるとすぐ出てこない人もいる ・食事の接種目標などどの程度自力摂取してもらうのかなど人によって違っていると思う	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・出勤日も職員により異なり週2回の人も多く働いている。申し送りはしているが、その方の変化や対応の統一が全員に認識されていないこともある。現在力を入れて取り組んでいることが何か。いつまで実施するのかなどケアプランを個別ファイルだけの保管ではなく、時間がなくても見やすいような場所に設置する、連絡ノートを使うなどし、状況変化に沿って対応していく。 ・摂取時間などは目安の時間を共有していく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月25日(18:00~20:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、山田、木村、上井、矢崎、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	10人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模のみで支援を完結してしまうことが多く、その対応で大きな不利益が利用者様に起こっていると感じることも少ないのでなかなか地域活動や民生委員との連携に至っていない。民生委員の活動を次年度はスタッフミーティングの話題に挙げて話し合う場を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続いていることもあり民生委員との連携や地域と連携して実際にご利用者の支援につながるケースはほとんど行えていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	5		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	8		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	8		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			11	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅訪問時に朝食の状況や室温管理など環境でわかる情報を確認し、家族と話を行っている。また、その情報をセンター職員で共有できるように記録している ・本人のことをセンターに任せっきりにならないようにご家族への働きかけを継続している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・今期は地域活動や民生委員との連携など摂ることが難しい状況(コロナ禍)だったと思う ・地域活動のことはあまり知らない ・地域に利用者様が出る場合はご家族と一緒にケースが多く職員が関わるケースが少ない。そのような状況の中でどのように地域とセンター職員が関わるのかがわからない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・以前は地域ケアプラザに行き体操なども実施していた。コロナ禍の中で行える地域との活動を地域ケアプラザと一緒に考えて年1回でも管理者やケアマネ以外の一般の職員も参加できる活動を行っていく ・多くの職員が関われるように特定曜日の出勤職員が月1回でも別の曜日に出勤できるかなども話し合っていく 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 吉野、小林、三野、木村、宮島、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	11人	人	人	12人

前回の改善計画
・細かい利用方法にも柔軟に対応できていたので、引き続き可能な範囲で調整し受け入れていく。
・コロナは終息していないが地域活動も増えてきているため参加できるための手段を考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・自宅で看取りとなるケースが3件あった。それぞれ何度も主治医や関係機関と話をし細かい対応を行った。大変ではあったがご家族様はそれぞれから感謝されやりがいを感じた。
・コロナ禍の中で出席者は限られるが地域包括や区役所主催のイベントへ参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	8		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		12			12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の変化やニーズは朝礼で共有している
・小規模の特性の柔軟性はケアマネージャーやサンリ社が家族と話し合いを重ねて信頼関係が出来ていると思う

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の資源を使うことはコロナ禍の中では難しかった
・記録に記載されていて読んだはずなのだが抜けてしまっていることもあった

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・小規模の特性もあり急な利用変更や時間変更なども多くある。柔軟な支援がご家族の都合に重きを置く傾向になっているので、その利用が本人にとって必要なのか、その中での本人のニーズを見つけるとともにセンター以外での支援方法を地域活動の中で見つけられるよう地域の活動を地域ケアプラサから情報収集する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00～21:00)

6. 連携・協働

メンバー 吉野、小林、三野、木村、宮島、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	5人	人	9人 (未記入3)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・コロナがなかなか終息せず町内会や自治会との連動が近年出来ていない。コロナ禍での自治会との連携を地域包括と相談しながら進めていく・医療職との連携は随時行っている。今後も連携して利用者支援を続けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・医療機関や訪問看護との連携は行えており看取りの方も支援ができた・町内会や自治会の活動には今年もコロナ感染が広がっていて参加は出来ていなかった・未記入者については地域との関連が記入時に判断できなかったため未記入で自己評価した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		6	4		10 (未記入2)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	10		12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?				10	10 (未記入2)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				10	10 (未記入2)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・往診医や訪問看護と連携しながら看取りの方の支援ができた・医療機関との連携は出来ていたと思う・職場の会議以外参加する機会はないが知ることは出来ている・ケアマネや管理者により介護保険サービスに係る専門職とのつながりはなされている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・インフォーマルな社会資源となる団体との関わりは進んでいない・コロナ禍で色々な催しへの参加が出来ていない。今後参加する機会を得たい・コロナ禍での地域イベントへの参加は高齢者へのリスクが高いと考えてしまう	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・コロナの感染が収まらず感染拡大時には地域のイベントに参加するにはリスクもある。高齢者施設という事も背景にあるが、3年と言う長い期間コロナ禍が続いているため、その中で参加できるイベントに感染対策を行いながら地域ケアプラザと相談して進めていく・主治医や訪問看護などとは今年同様日々の情報共有を電話や会議で共有していく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~21:00)

7. 運営

メンバー 吉野、小林、三野、木村、宮島、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	4人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの意見には対応しており大きな苦情はなかった。職員同士も話し合えており継続していく。 ・地域からの苦情はないが意見ももらえる場面が少ない。管理者やケアマネなど窓口は必要と思うが施設全体で意見をもらう意識を作るため、感染対策をしながらの地域活動に一般職も参加していけるよう取り組んでいく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職やケアマネはケア会議などに参加も一般職までは参加が難しかった ・家族からの要望があれば必要に応じてその場の職員や時間に余裕がある案件は意見を募るなどして対応できていた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	5	7			12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10			12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?			4	4	8 (未記入4)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?			6	6	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの意見は運営に反映できていると思う ・会議で意見を言うことは出来ている。ヒヤリハットなどでも職員全体で話し合いが出来ている ・家族の立場、ご苦勞、個別事情などに寄り添って介護プランを進めていると思う 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・今の感染状況と高齢者施設という点を考えると個人的には感染対策をして地域活動に進めていくことに賛成とは言えない ・地域から意見をもらうため地域ケアプラザのイベントに参加などは出来なかった ・認知症の方の精神状況や気持ちを家族に伝えても昔から頑固だからなど伝わらない時もあった 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・個別事情に寄り添って支援を継続していく。 ・コロナに関しては職員それぞれの意見があり地域活動への参加は当然必要だが、働く職員の気持ちも含めて1つ1つ丁寧に話し合いながら参加の検討していく。 ・地域の意見を聞けるように地域包括などの運営会議メンバー以外からの意見をもらえる場へ参加する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉野、小林、三野、木村、宮島、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	3人	9人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染が広がっており法人内や外部への研修には「もし感染したら」と言う気持ちも強く対面式の参加を見合わせている状況が続いている。3年間も続いているため、感染予防策を行いながら研修を実施して対面式で得られる情報共有や所属施設外の介護職との仲間意識を持つ機会が得られるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・今期もコロナ感染の拡大時期が多く対面式の研修は実施できなかった。研修はセンター内部のものと動画配信(ユーチューブなど)を用いた研修を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		9	2	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5	5	2	12
③	地域連絡会に参加していますか			3	9	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		12			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・法人でオンライン式の研修機会を設けてもらっている。改めて知ることも多い ・ユーチューブで研修できることを知り、スキルアップの為法人研修以外の介護関連動画を見ている ・個人的に介護の研修などに参加している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場で得た知識や経験からリスクマネジメントに取り組んでいるが、忙しかったり慌ててしまうとヒヤッとすることもありまた勉強しなくてはいけないと思う ・地域連絡会には一般の職員はコロナ感染予防もあり参加していない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>BCPの策定も必須になる。リスクマネジメントとしてはBCPに沿って職員が動けるように読み合わせを行い、加筆修正を行っていく。</p> <p>研修に関してはコロナ感染状況を見ながらオンライン・対面両方の検討をしていく</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00～21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 吉野、小林、三野、木村、宮島、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待については主観的な考えではなく、何故、この考えが正しいのかという事を事例に沿って話し合う場を職員ミーティング場で設けて職員の考え方にずれが生じないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄の言葉かけ時の声の大きさを話し合い、周囲に聞こえないようにトイレに誘うことを共有した ・高齢者虐待に関する自己評価を各自実施した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	7			12
②	虐待は行われていない	10	2			12
③	プライバシーが守られている	3	7	2		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している		6			6 (未記入6)
⑤	適正な個人情報の管理ができている		10			10 (未記入2)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待はしていないし見たことがない ・利用者様1人1人に興味と関心を持ち温かい気持ちで接している ・色々な要望に対応していると思う 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーになるか不明だが洗濯物が間違っって他の人のところへ行ってしまうことがある ・世話をしてあげると意識にすり替わり大人の方の対応をしている事を見落としてしまう時がある 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度について知る機会をカンファレンスなどでつくる ・職員同士が声掛けや接する態度を確認しあい、対応に迷った時には申し送りやカンファレンスの場で話し合うことで質を保っていく 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 三喜会	代表者	鈴木 龍太	法人・ 事業所 の特徴	平成 18 年より地域に根ざした認知症ケアの実践に取り組んでいます。家庭的な雰囲気 を大切に、デイサービスの利用に消極的な方や若年性認知症の方、周辺症状のある方 などの利用にも積極的に対応しています。通い慣れた場所での泊まりや馴染みの スタッフによる訪問サービスなど、環境の変化に敏感な認知症の方にも負担少なく利 用していただいています。介護支援専門員、介護福祉士、看護師、認知症ケア専門 士、作業療法士等の資格を持った経験豊富なベテランスタッフがチームワーク良くご 利用者の支援に取り組み、専門職の立場からご家族の相談にも応じ、支援していま す。
事業所名	デイサービスセンタ ー青葉台	管理者	吉野 裕晃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	小規模の特徴である柔軟な対応 は出来ており今後も継続してい く。地域とのかかわりに意識の差 があるため情報共有していく。	今期も自宅での看取りも行い、柔 軟に訪問や宿泊も利用提案して きた。家族の免許返納時に通院介 助も対応した。	利用者様の意向に沿って自宅で の看取りを行って、通院対応や 急な利用への対応はありがたい 事だと思います。	小規模の特性を継続しながら、コ ロナが落ち着きつつある中で地 域活動に1つ以上参加していく
B. 事業所の しつらえ・環境	建物自体が古いため、台風や地震 で災害が出ないように環境を整 えていく。パンフレットは再検討 していく。	パンフレットは新しいものに変 更した。天才に関してはBCPの 作成を中心に緊急対応の基準見 直しを行った	パンフレットは見やすくなりま した。BCPは今後必要なツール となるため引き続き作成をして いてもらいたい	コロナ禍が落ち着き次第、地域 の方にも小規模を見ていただける 見学会を企画する。
C. 事業所と地域の かかわり	地域包括支援センター開催の勉 強会や会議を中心に今後も地域 の催しへ参加していく。	区役所主催の勉強会や包括の地 域会議へ参加をした。コロナ禍で 流れてしまった会議もあった	包括主催の会議へ参加いただき ありがとうございます。認知症に 関するサポート講座もあり今後 も参加していただきたい。	今後も包括主催の会議へ参加し ていく。決まった職員ではなく複 数の職員が関わるようにする。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	地域のお祭りや活動を民生委員 の方と情報共有しながら参加の 仕方を一緒に考えていく。	コロナ感染の危険を考えた上で 今年は地域活動に参加は行えな かった。	地域包括としても介護サービス 利用の方がどのように地域とつ ながっていけるのか一緒に相談 していきたい	介護サービスのみで支えるので はなく地域資源に1つでも参加 できるように包括と連携し利用 者様と一緒に参加する

E. 運営推進会議を活かした取組み	可能な限り対面式の運営会議を開催する。ウェブ会議の仕方を勉強しながら書面ではない開催を行っていく。	今期はコロナ感染が終息せず、外部を招く会議開催は実施できず書面中心となった。リモート会議も少しずつ対応している。	運営会議の報告は書面以外でも口頭で報告いただいているので、やり取りは行えていると思います。	可能な限り対面式の運営会議を開催する。書面となった場合は個別に
F. 事業所の 防災・災害対策	コロナ感染の状況を見ながら自治会への協力依頼をして防災の訓練を実施していく	定期的な防災訓練は年2回行っている。コロナ禍でありF I G訓練も含めて実施をした	コロナ禍の中でも防災の意識は大切であり実施していただいていると安心します。	コロナ感染が落ち着けば地域住民の方が参加した形の防災訓練を実施する

